



第 52 号
平成30年1月31日 発行
— 発 行 —
埼玉県立がんセンター
発行責任者
病院長
坂本 裕彦

基本“唯惜命”
理念

私たちは生命の尊厳と倫理を重んじ、先進の医療と博愛・奉仕の精神によって、がんで苦しむことのない世界をめざします。

目次

- 看護部長就任のご挨拶…………… 1
- リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017さいたま参加報告…………… 2
- リハビリテーション部門の紹介/第3回アジア・パシフィック神経芽腫シンポジウム(APSN2017)を開催しました… 3
- 男女スタッフ募集…………… 4



埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県立がんセンター



看護部長 伊藤 美佐子



看護部長
伊藤 美佐子

今年度、埼玉県立がんセンターの看護部長に就任いたしました。当看護部の15代目の看護部長になります。42年間の埼玉県立がんセンター看護部の歴史を担うことに不安と重責を感じております。がんセンターは、

県民のがん克服の期待を担って昭和50年11月に100床で開院いたしました。開院以来、高度がん医療とがん研究を通じ、県のがん医療水準の向上に努めてまいりました。ここがんセンターは、わたくしの看護師としての出発点であります。入職当時は、一般病棟が45床、集中治療室は6床の200床の病院で、変則3交替制勤務の準夜勤3名、深夜勤2名の体制でした。その頃がんで苦しむ患者さんは少なくなく、患者さんの痛みを和らげるために自分たちができることは何かを考え看護をしておりました。未熟ながらにわたくしも、先輩の教えである「患者の立場に立った患者中心の看護」の思いを胸に、患者さんやご家族が抱えている苦痛を緩和することに一生懸命でした。今やがんによる痛みや辛さはコントロールできるようになり、緩和ケアの推進とともにがんと共生する時代です。

がんセンターは、平成25年12月に503床になり、病院組織のなかで最も多くの職員を抱える看護部は、看護師数172人から502人になりました。「がんの痛みか

らの解放」を願い、がんセンターの基本理念である「唯惜命」のもと、「高度先進がん医療の提供」「日本一患者さんと家族に優しい病院」を掲げ、看護部一丸となって取り組んでいます。

看護部の理念は、「がんセンターの理念に基づき、患者さんの権利を尊重し個々のニーズに応じた患者中心の質の高い看護を提供します」です。その実現のために、看護師一人ひとりが専門的知識に裏付けされた看護技術を学び、自信と誇りをもって看護を実践しています。また、4人の専門看護師と23人の認定看護師



専門・認定看護師

が、患者さんにご家族により良い看護を提供し、自分らしい生活を歩み続けていくための支援を行っています。

そして、その多くの看護師をまとめているのが、副部長4人、看護師長18人、副師長4人の看護管理者です。チーム医療の中で、外来・入院・在宅と様々な過程において、患者さんご家族が安全で安心な医療が受けられるよう、他職種と協働しその役割を担っています。患者さんの「その人らしさ」と「思い」に寄り添い、「がんで苦しむことのない世界」をめざし、患者さんにとって真のやさしい病院となれるよう邁進してまいります。今後ともどうぞ、よろしく



看護管理者

お願い申し上げます。

来年はあなたも
参加しませんか？

リレー・フォー・ライフ・ジャパン (RFLJ)2017さいたま

参加報告



副病院長
リレー・フォー・
ライフ・ジャパン2017
さいたま副実行委員長
横田 治重

今年もがん患者支援チャリティイベントRFLJ2017さいたまが9月9日12時～9月10日12時の24時間にさいたま市緑区の農業者トレーニングセンター「緑の広場」で開催され、がんセンターチームも例年通り参加しました。1985年に一人のアメリカ

人医師によって始められたこのイベントは、現在では25か国約6000か所で行われ、日本でも2016年には49か所で開催されており、「祝う (Celebrate)」がん告知を乗り越え今を生きる患者さんや家族などその支援者を祝福し、「しのぶ (Remember)」がんで亡くなった愛する人をしのび、「立ち向かう (Fight back)」がんの予防や検診を啓発し、征圧のための寄付を募りがんを負けない社会をつくることを目標としています。さいたまのイベントも今年で9回目となり、1回目からの継続的テーマとして“迷わせない・困らせない・ひとりにさせない”を掲げての開催となり、24時間リレーウォークやステージイベント・場内での啓発やチャリティ活動など53チームがそれぞれの形で参加しました。



がんセンターからも患者さんやご家族に書いて頂いた沢山のルミナリエバッグが一晩中皆さんのメッセージを灯し、来場できなかった方々の手形カードは会場で押された患者さんたちの手形フラッグとともに会場を行進しました。一方職員79

名がリレーウォークに参加して昨年に続き24時間で100kmを歩き通したほか、ステージや会場内での啓発活動（坂本病院長、血液内科川村先生ありがとうございました）に力を注ぎました。またNPO法人がんノートとがんセンターのコラボ企画として、「出張がんノート～がん経験者の情報を今、闘病中のあなたへ～」と題するステージイベントに、医療者のがん経験者として私横田とがんセンター病棟看護師の柝内千尋さんが登壇して経験談を披露しました。この模様は生中継でネット配信されたので、それをがんセンターで受信して講堂でパブリックビューイングをできるようにして入院中の患者さんに観て頂けるようにしました（写真にその様子をご紹介します）。



今年は約100名のがん経験者が来場され、総来場者数は約3000名に達し、全体でのラップ（行進）時には1周250mのトラックが人々の列でつながるといった感動的な光景が見られました。でも私としては、（職員はもちろんのこと）がん患者さんやご家族の参加（24時間のうちお好きな30分でも構わないのです）がもっと増えて頂けたらより楽しくより意義深いイベントになるのではと考えています。2018年のイベントへの参加をお待ちしています。



リハビリテーション部門の紹介



理学療法士
吉原 広和

理学療法士 吉原 広和

「がんを患った」としても一つ一つのがん治療の進歩により病気の克服が可能となったり、病気と上手につきあいながら日常生活を送ることも可能となってきました。その一方で個人差はあるものの手術の後遺症や治療の副作用とも上手につきあっていく必要が生じ、リハビリテーションの必要性も同様に高まっています。がん患者さんのリハビリテーションはその過程により大きく、予防期・回復期・維持期・緩和期に分けられるとされています。当センターのリハビリテーション室は、がん治療により生じ得る障害の予防と、手術に伴う直接的な影響や化学療法・放

射線治療などにより生じた身体機能障害に対し、運動機能の改善や日常生活動作の維持・拡大を目的にしたリハビリテーションの提供を中心に、患者様の状態や希望、必要性に応じてすべての病期における対応を心掛けております。

リハビリテーションの実施にあたりましては医師・看護師はもとより相談支援・薬剤師や患者様の担当のケアマネージャーなど地域の方たちも含めて連絡を取り合い、より患者様・ご家族の希望にそった生活を支えられるようお手伝いをさせていただいています。

日常生活動作などの方法に不安がございましたらリハビリテーションの介入について主治医にご相談ください。主治医と相談の上、リハビリテーションの実施を検討させていただきます。



第3回アジア・パシフィック神経芽腫シンポジウム (APSN2017) を開催しました



臨床腫瘍研究所
専門研究員
竹信 尚典

臨床腫瘍研究所 専門研究員 竹信 尚典

去る2017年10月6日(金)、国立国際医療研究センター(東京都新宿区)において、臨床腫瘍研究所と神経芽腫研究会の共同主催による『第3回アジア・パシフィック神経芽腫シンポジウム(APSN2017)』が開かれました。この研究会は、2013年から2年に1回開かれており、特にアジア地域での神経芽腫を中心とした研究および治療の最先端の発表を行うことによって、研究及び治療のレベル向上を計っています。

今回の研究会は、上條岳彦臨床腫瘍研究所長を代表者として開催し、日本、台湾、シンガポールから、計70名の研究者が参加しました。国立がん研究センターの牛島俊和先生による「がんとエピゲノム」についての特別講演をはじめ、日本からは大阪市立総合医療センターの米田光宏先生、京

都府立医科大学の家原知子先生による日本の臨床研究についての基調講演や、国立台湾大学の許文明先生、李心予先生による台湾における基礎・臨床研究に関する基調講演をいただきました。また、若手研究者も多く参加し、小児がんの基礎および臨床における最新の研究成果について、スライドおよびポスターを用いての発表と活発な質疑応答が行われ、アジア地域での小児がんの治療成績の改善につながると期待されます。





Saitama Cancer Center

埼玉県立 がんセンター

(公財)日本医療機能評価機構認定病院

男女スタッフ募集

- ★新築されたばかりのキレイな病院です
- ★コンビニ・ATM・職員無料駐車場完備
- ★職員食堂の作りたてランチが利用可能

職場見学随時歓迎

まずはお気軽にお問い合わせください

お皿の機械洗浄スタッフ

(洗浄業務/臨時職員)

時給1,000円

募集人員
5名程度

男女
活躍中

【配属先・勤務内容】

栄養部 病棟から栄養部門までの下膳と食器洗浄

【賃金・勤務日時】

勤務時間は下記の中からご都合に合わせて選んで頂けます

週2日～3日勤務…日額3,000円～5,833円

8:10～15:00 (実働5時間50分/休憩時間60分)

15:10～21:30 (実働5時間50分/休憩時間30分)

18:30～21:30 (実働3時間/休憩時間なし)

◎通勤手当相当額を別途支給 ◎勤務日相談可

◎採用から半年後に有給休暇付与

【休日】シフト制

土曜や日曜、祝日のお休みも可能です、ご相談ください。

街が空いている平日も、ご家族や友人とのレジャーも、両方満喫できます。



選べる
勤務
時間帯

年齢
経験
資格不問

勉強や家事と両立し易い時間帯を選んで無理なく勤務して頂けます。福利厚生も良く、スタッフみなさん爽やかに働く職場です。



募集人員
5名程度

時給1,125円程度

患者さんのお食事の配膳や下膳、リネン交換、病室の環境整備や雑用など。簡単なことからゆっくりお仕事を覚えて頂けます。

看護のお手伝い

(看護助手/非常勤職員)

女性
活躍中

【配属先・勤務内容】

看護部 看護業務の補助等の業務

【報酬・勤務日時】

週13.5時間勤務(1日当たり4.5時間・週3日)…月給66,000円

7:00～12:00 (休憩時間30分)

週22.5時間勤務(1日当たり7.5時間・週3日)…月給110,000円

7:00～19:00の間で勤務を組み合わせるシフト制 (休憩時間60分)

週24時間勤務(1日当たり6時間・週4日)…月給117,000円

12:00～19:00 (休憩時間60分)

*この金額から毎月所得税等が差し引かれます。

*週13.5時間勤務の方は社会保険は適用されません。

*週24時間勤務・週22.5時間勤務の方は社会保険と雇用保険に加入になります。

◎通勤手当相当額を別途支給 ◎勤務日相談可 ◎制服無料クリーニング

【休日】休暇制度充実

選べる
勤務
時間帯

年齢
経験
資格不問

清楚な
制服
無料貸与



【応募】埼玉県立がんセンター 事務局/総務・職員担当 丸野(まるの)

☎048-722-1111(代表) 内線 2112 ※月曜日～金曜日

埼玉県立がんセンター スタッフ募集

検索

募集期限:平成30年3月30日まで